

開催日時：2002年12月12日（木） 17:00～19:45

場 所：天満研修センター 2F 205 ホール

参加者数：委員 10 名（うち 1 名は部会長の要請により参加） 河川管理者 10 名、一般傍聴者 84 名

1 決定事項：特になし

2 審議の概要

委員会および各部会の状況報告

資料 1-1「委員会および各部会、WG の状況」をもとに活動状況等について報告が行われた。

提言（案）に関する意見交換

今本委員（最終提言作業部会リーダー）より、資料 2-2「淀川水系流域委員会 提言（案）（修正案 021129 版）」及び資料 2-2 補足「提言素案 021113 版から 021129 版への主な修正点について」をもとに説明が行われた後、意見交換が行われた。主な意見は下記のとおり。

- ・治水について、住民が参画した整備区間の優先順位の設定、現状の治水安全度の情報開示と周知を付け加えて欲しい。
- ・2-3「利水の現状と課題」について、“住民の大半が猪名川の水に依存していない”との表現は不適切ではないか。
下流部では、飲料水を猪名川ではなく淀川に依存しているところが多いという意味であるが、少なくとも農業用水の猪名川への依存度は高いと考えられるので、“住民の大半”という表現は改めたい。（リーダー）
- ・猪名川の自然に対する住民の認識に関して、1-4「猪名川流域の特性」と2-4「河川利用の現状と課題」の記述内容に整合が取れていない。
- ・猪名川に関する記述部分は、全体に内容が薄く修正すべき点が多いと感じる。
- ・猪名川に関する記述は中間とりまとめが元になっている。修正意見を 25 日までに提出頂ければ、できるだけ反映したい。（リーダー）

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者 4 名から、「提言（案）に対する委員意見の採択方法に関する委員意見について議論すべき」、「周辺の土地利用の変化も踏まえ余野川ダム計画の見直しが必要」、「計画・工事中のダムに対する記述も含めるべき」等の発言があり、主としてダムについて下記意見が出された。

- ・「計画・工事中のダム」について何も触れないのは違和感がある。（委員）
- ・「新規」「計画・工事中」を区別して記述せず、計画・工事中のダムが原案の中で具体的に示された段階で提言に示す「ダムのあり方」に基づいて検討すれば良いと考えている。区別して記述してもしなくても内容に変わりはない。（委員）
- ・現在の記述が「計画・工事中」も含んでいることが委員間で一致しているかが問題。（一般傍聴）

3 その他（今後の進め方等について）

- ・資料 3「今後の進め方および会議開催日程について」をもとに、庶務より、提言（案）とりまとめと河川整備計画について、今後予定されている進め方について説明が行われた。
- ・資料 4「淀川水系河川整備計画策定に向けての説明資料（第 1 稿）」について、河川管理者（近畿地方整備局）より、資料の位置付けや見方について以下の説明が行われた。
 - ・本資料は河川整備計画原案ではない。河川整備計画策定に向けた検討の経過をとりまとめた現状報告である。1/24 に行う原案（第一次素案）の説明に向けてご一読をお願いしたい。
 - ・検討の流れに沿って、表の左の列から、課題 方針 具体の整備内容、の順に並べている。

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。